



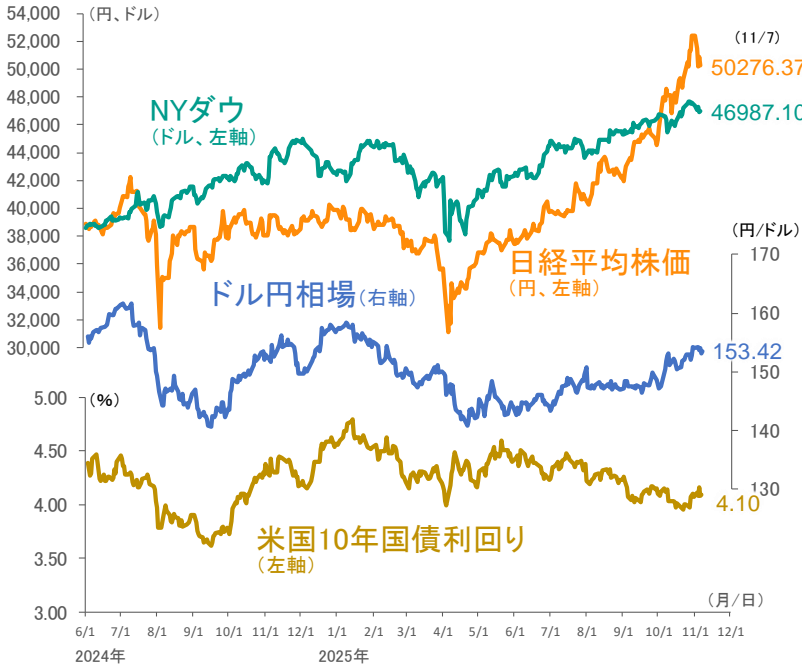
マーケットレポート

Weekly Guide 2025.11.10

りそなグループのYouTubeで、最新のマーケット情報を配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、これまで株価上昇をけん引してきたAI関連銘柄が高値警戒感による利益確定売りに押されて下落したことから、世界的に株安で終わりました。週間騰落率は、NYダウが▲1.2%、ナスダック総合指数▲3.0%、独DAX指数▲1.6%、日経平均株価は▲4.1%でした。債券はもみ合いが続き、10年国債利回りは米国が前週末比+2bpの4.1%、独は同+3bpの2.67%、日本は同+1bpの1.68%に小幅上昇しました。ドル円は153円台を中心に横ばい圏で推移しました。

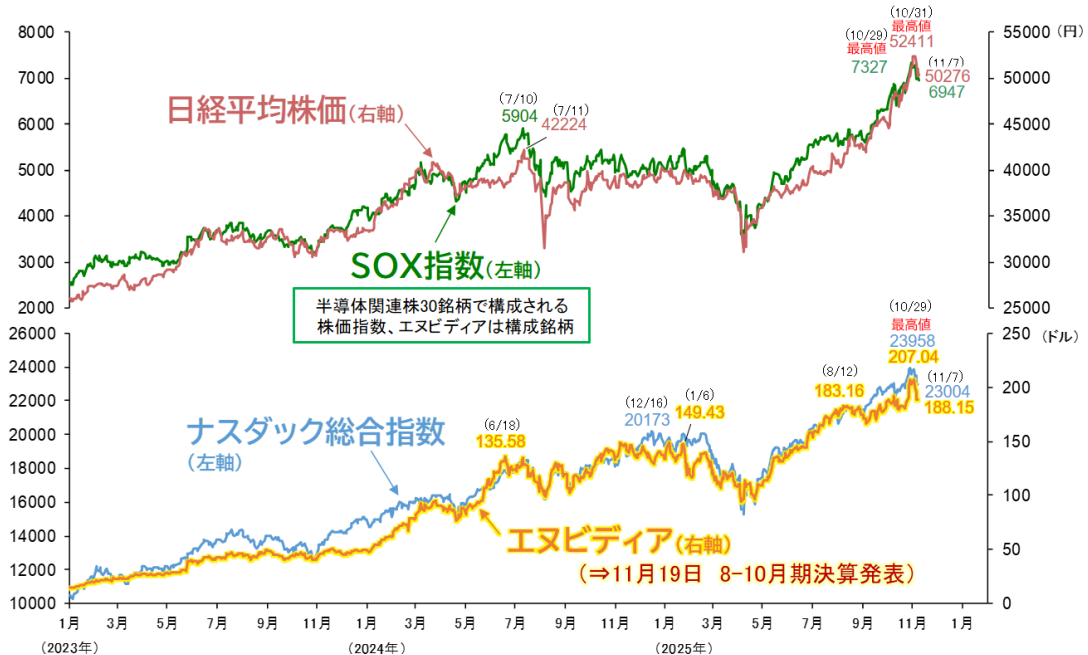
今週は、米政府機関の閉鎖問題に市場の関心が集まります。閉鎖期間が過去最長となる中、企業の雇用削減数の増加や消費者心理の悪化等、実体経済への悪影響が顕在化し始めています。また、経済統計の発表停止でFRBの12月利下げが見送られるとの見方が強まり、AI関連株の利益確定売りに繋がっている点も指摘されています。事態収拾に向けて議会では与野党間の協議が続いており、進展がみられるか注目されます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・10月日銀決定会合「主な意見」 (10日)
 - ◆ 日・10月景気ウォッチャー (11日)
 - ★ 米・10月NFIB中小企業楽観指数 (11日)
 - ◆ 日・10月国内企業物価指数 (13日)
- ～7-9月期 日・米主要企業決算発表～
りそなHD、ソフトバンクG、ソニーG(11日)
日本郵政(12日)、ウォルト・ディズニー(13日)

★：りそな景気先行指数関連指標

AI関連銘柄に対する利益確定売りが膨らみ、ナスダック総合指数と半導体SOX指数は10月29日をピークに調整が続いています。AI関連の一角を占める半導体株の比重が高い日経平均株価も先週は▲4.1%で終わりました

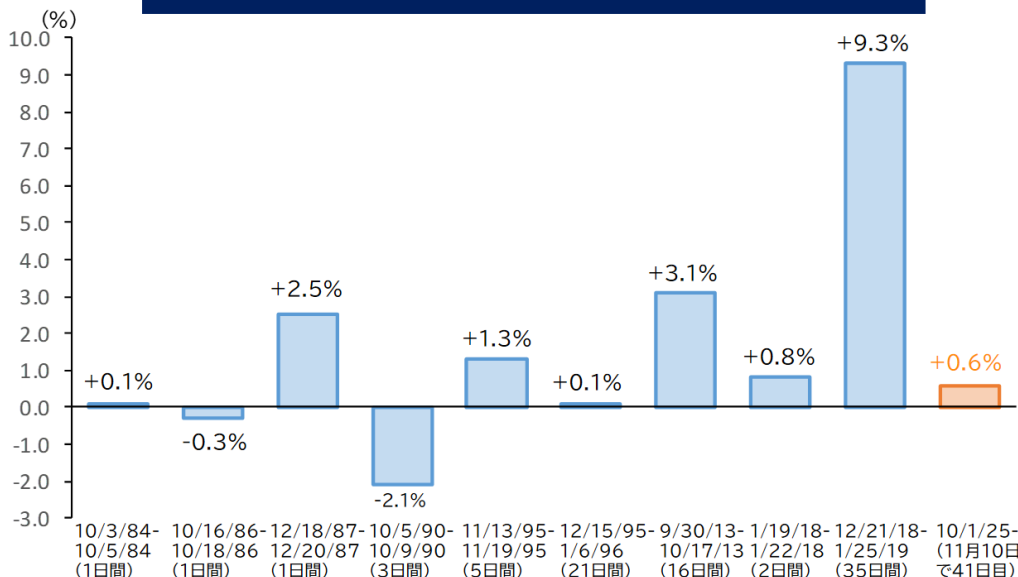


【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

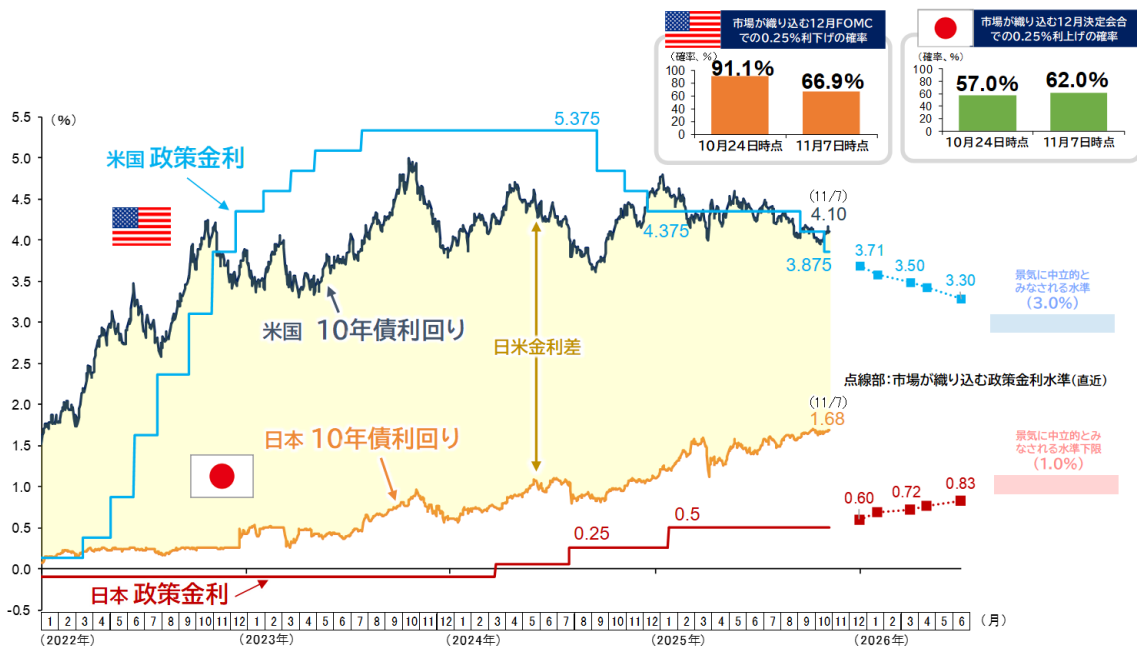
米政府機関の一部閉鎖が続いています（11月10日で41日目、過去最長を更新中）。経済統計の発表停止により景気・物価情勢の判断が十分に出来ないとの理由で、FRBが12月利下げを見送るとの見方が足元の市場で強まっています

米政府機関一部閉鎖期間中のS&P500指数の騰落率



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

市場が織り込む「12月FOMCでの0.25%利下げの確率」は7割弱に低下しています。政府閉鎖解除で経済統計発表が再開された場合、雇用の軟化・物価安定が確認され、12月利下げ観測が再び強まると予想されます



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2025年11月17日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。